

〈評価基準〉

4 : 十分評価できる	3 : おおむね評価できる
2 : あまり評価できない	1 : ほとんど評価できない

平成26年度 学校関係者評価委員による最終評価

教育目標	校訓			共通実践事項			最終評価	改善点・次年度への要望
	叡	志	剛	1	学力向上の推進	① 学力がつく授業の実践 (授業が勝負, 分かる・やる気の出る授業の展開)		
「知・徳・体」調和の取れた人材の育成 生徒一人ひとりの豊かな自己実現	① 確かな学力を持ち、国際社会に対応できる生徒 ② 敬愛・奉仕の心や正義感など豊かな人間性を持つ生徒 ③ 体力と気力を持ち、心身共に健全な生徒						1	学力向上の推進
				③ 授業力の向上 (学力検討会・研究大会への参加, 研究授業の実施)				
				④ 3年間を見通した指導計画 (教科・学年等との連携をもとに, シラバスの活用)				
				2	進路指導の充実	⑤ 目標に向け熱意で引っ張り見届ける指導の充実 (進路・学力検討会等を踏まえた, 進路意識の高揚)	3.8	○個に応じた進路指導の充実が図られている。次年度に向けてさらに健康に留意し生徒のために努力してほしい。 ○生徒一人一人に応じた指導を行っている。 ○キャリア教育の充実を図ってほしい。 ○既に岡山大学, 鹿児島大学, 熊本大学をはじめ国公立大学や有名私立大学への合格者が例年以上に多く決まっているようで良かったです。 ○これから二次試験の結果が出ると思う。成果に期待したい。
						⑥ 個に応じた進路指導の充実 (進路情報の共有と多様化した入試制度の把握)		
						⑦ 心に届く指導の充実 (厳しくも温かみのある指導(「褒める, 叱る, 教える, 諭す」))		
				3	生徒指導の充実	⑧ 足並みを揃えた生徒指導 (社会生活の基本的ルールやマナー向上への組織的指導)	3.8	○少々の改善はあると思うが, 指導が徹底されている。先生方の心が届けられている。 ○特に問題ないと思う。携帯電話等の対策は学校だけでは難しいと考える。 ○携帯電話等の使用についての指導を継続して行ってほしい。 ○服装違反や交通違反をする生徒がほとんどいないのはすばらしい。 ○携帯電話に関する指導は小・中学校の時期から保護者に注意し, 小中高の連携が必要である。
						⑨ 差別・いじめを許さない指導の徹底 (他者尊重の精神育成, 教育相談の充実, 保護者との連携)		
						⑩ 交通安全指導の徹底 (交通ルールの遵守と事故防止)		
						⑪ 生徒会・部活動の活性化と学習との両立 (学校生活の充実と心身共にたくましい生徒の育成)		
						⑫ 健康・安全教育の充実 (健康・安全への意識の向上, 改善に向けた実践力の育成)		
				4	保健指導の充実	⑬ 思いやりや命の尊さを育む指導の充実 (命の大切・尊さを教え, 育てる指導の充実)	3.0	○インフルエンザ, 感染性胃腸炎等近年流行性の疾病が増えている。これも小中学校・家庭と連携して蔓延をふさいでいきたい。 ○法定伝染病罹患による60名の出席停止数が多い。特にインフルエンザ。健康教育で予防に対する意識向上を図ってほしい。 ○スクールカウンセラーの実働状況を詳しく教えてほしい。 ○屋外での活動に対し, 紫外線対策や熱中症対策をとってほしい。
						⑭ 「来て(行かせて)良かった」学校づくり (学習環境の整備, 信頼される教師, 地域への積極的PR)		
				5	魅力ある学校づくりの推進	⑮ 特色ある学校づくり (英語コースの充実, 奉仕活動・地域行事への参加)	3.8	○学校便り, HPがよくできており分かりやすい。そして, 学校の特色が出ている。 ○旧制中学校からの伝統ある志布志高等学校の校風が受け継がれており, 質実剛健さを感じる。先生方の指導に敬服する。 ○広報について, 地域へのPRが継続的に行われるように対策をとってほしい。 ○学校PRのため部活動単位でもボランティアやパレード参加など市の祭りに参加してほしい。